

令和2年度第3回狭山市地域包括支援センター運営協議会及び
狭山市地域密着型サービス運営委員会 会議録

日時：令和3年3月22日(月) 13時30分～
場所：市役所6階603・604会議室

出席者…渡井会長、高橋副会長、大野委員、野原委員、青山委員、高安委員
香田委員、中川委員、井村委員、品田委員

事務局…西澤長寿健康部長、関口長寿健康部次長(兼)長寿安心課長
吉崎介護保険担当課長、小林長寿安心課主幹、田邊同主査、
北山同主査

欠席者…影山委員

傍聴者…なし

◇地域包括支援センター運営協議会開会

議長…渡井会長

議 題

1. 地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について

○資料に基づき事務局より説明

委 員…新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者が、地域
包括支援センターに相談するケースが増加していると思
うが、評価しているのか。

事務局…地域包括支援センターの相談業務は多岐に亘っており、新型
新型コロナウイルス感染症の相談も含まれている。一般的には65
歳以上の高齢者の相談窓口にはなっているが、ご家族等が感
染するという事も考えられるため、幅広く相談は受け付け
ている。地域包括支援センターで解決が困難な案件であれ
ば、関連部署に引き継ぐ体制が出来ている。相談件数は延び
ている状況ではあるので、機能していると考えている。

議 長…その他に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

2. 第7期計画期間における地域包括支援センターの増設結果等について

○資料に基づき事務局より説明

委員…人員体制はどうなっているのか。

事務局…分割前は6名体制で運営頂いていたが、分割後は各4名で対応頂いており、より細かな支援が出来ていると考えている。

議長…その他に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

3. 第8期計画における地域包括支援センターの増設について

○資料に基づき事務局より説明

委員…今年度も受託法人が無かった場合はどうするのか。何年継続して募集していくのか。

事務局…第8期計画に位置付けをしたが、令和5年度までの計画となるため、期間内は継続する予定である。

議長…コロナ禍もあって、手を挙げてくれない状況もわかるが、同圏域に在住している者として、柏原・水富圏域を分割して、更なる住民サービスの向上というアナウンスが住民に伝わっていないように感じる。住民はともかく、福祉関係に従事する医療関係、福祉関係、社会福祉法人等に対して、行政としてもう1歩告知をする方策を強化していただいて、法人が受託したいと思えるようにしていただきたい。今のままでは受託法人は現れない。もう1段取組を強化していただきたい。2年以上かかっており、見ていて心配である。

その他に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

◇包括運営協議会閉会

◇地域密着型サービス運営委員会開会

議 題

1. 高齢者施設職員に対する PCR 検査実施について

○資料に基づき事務局より説明

議 長…地域密着型介護老人福祉施設からの申込がない背景は何かあるのか。

委 員…市内の特別養護老人ホームは医療が母体のためではないか。新しい検査用の機械が医療機関に入り、早く検査が可能となったため、そちらで行うのではないか。他の医療母体の施設も手を挙げていないと思う。

また、ワクチンも同様になるのではないか。

委 員…検査対象は全員対象ではないのか。

事務局…事務の職員やドライバーも含めた全ての職員が対象となっている。

議 長…その他に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

2. 地域密着型サービス事業所の第7期計画期間における整備状況及び第8期計画期間における整備計画について

○資料に基づき事務局より説明

委 員…認知症対応型共同生活介護事業所の閉所事由は。

事務局…閉所の理由は聞いていないが、閉所した施設の運営法人がサ高住を経営しており、利用者はそちらに移されたと聞いている。

委 員…看護小規模多機能型居宅介護事業所は狭山に1つも整備されていないため、令和5年度に1事業所認可をしようかということか。

事務局…看護小規模多機能型居宅介護は国も普及させたい意向があるが、運営を行いたいという事業所がないのが実態である。県内でも整備が進んでいない。計画策定の中で、関係者に話を聞いてきたなかで、整備に関心を持っている方が何人かい

るため、計画に位置付けをした次第である。

委員…訪問看護の現場では、看護小規模多機能型居宅介護に関心をもっている者が多い。ただ、狭山市が認可をしないから駄目と聞いていた。今回の計画について伝えていきたい。

委員…認知症対応型共同生活介護事業所については、2ユニットとの認識で良いのか。県内の他市町村では3ユニットの認可が出せると聞いている。運営する事業者としても、2ユニットよりも3ユニットのほうが運営をしやすい。小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護については、単体事業所で運営をすると採算がとれない。他の自治体では認知症対応型共同生活介護事業所と併設等、何等かの事業との併設が多い。看護小規模多機能型居宅介護事業所は三郷市で立ち上がっているが、併設事業所で行っている。単体で募集をすると手をあげてくる事業所が厳しいのではないかと推測はしている。

事務局…認知症対応型共同生活介護事業所については、今回は2ユニットで計画している。併設の考え方について、普段より相談を受けていく中で要望も多く、今回、小規模多機能型居宅介護事業所と認知症対応型共同生活介護事業所を同じ年度に整備計画を位置付けているのが、併設も見込んでの計画となっている。看護小規模多機能型居宅介護については、整備を行いたいという相談が多いのは確かだが、その後が続かない。市内医療機関の看護師からの相談も受けており、母体があつての開設ではないかと推測はしている。

議長…その他に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

3. 地域密着型サービス事業所の指定・変更について

○資料に基づき事務局より説明

議長…特に質疑が無ければこの件について承認でよろしいか。

☆全会一致で承認となる

○その他

・令和3年度の会議開催日程について

事務局…地域密着型サービス運営委員会の中で、施設整備について説

明をしたが、受託事業者を選定する場合は、臨時で会議を開催する可能性がある。運営委員会の中から3名程度ご協力をいただき、評価会議に出席いただくことになる。その際は依頼をさせていただくので、ご協力をお願いしたい。年間の会議については3回で計画をしており、7月、12月、3月で、各議題のとおりを予定している。

委員…訪問看護のデータを紹介したい。市内12か所の訪問看護ステーションにアンケートをとったもので、参考までに紹介したい。訪問看護を利用している方が1,100人、その内、入間市の方が2割程度。往診を受けている方が340人で、760人が往診を受けておらず、その内、501人が往診をしてほしいという時に、その先生は往診をしてくれないという結果がでている。参考にさせていただければと思う。

◇地域密着型サービス運営委員会閉会